

第5学年 理科学習モデル指導案

1. 単元名 「流れる水のはたらき」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○洪水のときの様子や、洪水を防ぐための工夫について調べる。

(2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	教師の支援	学習活動
1		T: 福井県にある「九頭竜川」という川についてのマンガを読みましょう。
	☆ワークシート「自分たちにもできる災害への対策を考えよう」を配付し、地名と土地の様子 の関係を知り、自分たちにもできる災害対策の方法について考え、話し合わせる。	
3	●マンガを読んだ感想を発表させる。	T: マンガを読んだ感想を、発表してください。 C: 地名と土地の様子に関係があるなんてびっくりした。 C: 自分の住んでいるところの地名の由来を調べたくなった。 C: 昔の人の知恵はすごいと思った。
5	●マンガを通して伝えたいことをまとめる。	T: マンガにあるように、土地の様子を伝えるという方法が災害対策にもなる のですね。
8	●自分たちにもできそうな対策について考えさせ、 ワークシートに個々に記述させる。 ●考えた対策について話し合わせて、何人かに発表 させる。出た対策を板書する。	T: この地域に住む人へ、危険な土地の様 子を伝えるために、みなさんができそ うな取り組みを考えて、話し合いまし ょう。 わたしたちが住んでいる地域ででき ることを考えてもいいですね。 C: 新聞をつくって学校に貼るとか。 C: ハザードマップをつくって配ったら どうかな。
9	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p>地域の防災に活躍した先人の工夫や思いを伝えていく以外にも、災害が起きる可能性 の高い土地の特徴を伝えるなど、自分たちにも災害対策のためにできる取り組みはあり ます。災害はいつ起きるかわかりません。</p> <p style="color: red;">生命を守るためには、ダムや堤防など、自分の住む地域にある防災施設や設備を事前 に知っておくだけでなく、自分にもできる取り組みを考え、実行していくことが大切で す。それは自分の生命を守るだけでなく、家族や地域の人々の生命を守ることにもつな がります。</p>	